

全校生徒数	239名 (男子120名 女子119名)
全クラス数	6クラス (内特別支援学級0クラス)
教職員数	20名(内保健体育科1名)
地域のスポーツ指導者の活用(年間延べ人数)	4名

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を生かしたカリキュラムの作成と取組

いちのせきだいいちこうとうがっこう ふぞく
岩手県立一関第一高等学校附属中学校

取組時の課題と目的

Plan

1 取組時の課題

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成を目指しているものの、組織的・機能的な取組が十分に行われているとは言えない状況にある。

2 取組の目的

- ①全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を生かし、教職員の共通理解のもと保健体育の授業を中心に授業以外の取組なども工夫・改善しながら、本校生徒の体力・運動能力の向上を図る。
- ②教育理念である「社会の進歩と発展に貢献する次世代のリーダーの育成」に向けて、「生きる力」を支える要素である体力などの重要性を学校、家庭、地域で共有し、「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、社会に適応する能力を育成する体制を構築する。

取組の内容

Do

1 体力・運動能力の向上に係る取組

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の他、学校評価などを踏まえ、「育てたい生徒像」の中に「健全な心身」を掲げるとともに、取組方針の一つに「心身ともに健康な生徒を育てる」ことを明確に位置付ける。また、保健体育科担当の教員だけの取組にならないように、主任層が参集して主任打合せを定期的に行い、取組の進捗状況などをきめ細かに共有する。

2 保健体育科の授業の工夫・改善

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえて、①学習の見直し、②学習課題を解決するための学習活動、③学習の振り返りという「いわての授業づくり三つの視点」を大切に授業の工夫・改善に取り組む。体育分野では、技能、態度、知識、思考・判断のバランスの取れた指導と評価を大切に、男女共習による授業を展開するとともに、生徒同士で助け合ったり役割を果たしたりする活動などを取り入れる。また、保健分野では、生徒同士で話し合う活動を取り入れるなどして、健康の三原則の必要性について理解が深められるようにする。

3 保健体育科の授業以外の取組

保健体育科の授業で学んだことを生かしながら、体育的な学校行事や生徒会活動をイベント化し、運動の日常化への取組に広げる。また、部活動では、自主的・自発的な取組を推進するとともに、専門性に優れた部活動指導員に指導を委嘱し、活動の充実を図る。近隣学校の栄養教諭を講師として招聘して料理教室を開催する。

4 家庭や地域との連携

教職員、生徒、保護者などが目標を共有し、協働して達成を目指すものとして「まなびフェスト」を提示する。取組の様子などをホームページに掲載したり、各種通信を発行したりして共有を図る。一人一人の取組状況などに焦点を当て、行き届いた指導に取り組む。また、保護者が中心となってPTA会報に、生徒が運動やスポーツに取り組む様子や手づくり弁当の特集を掲載する。近隣の支援学校との合同部活動により、一人一人の違いに応じた課題や調整を大切にしようとする共生の態度を醸成する。

→ 工夫したこと

保健体育科の授業を中心に、限られた状況の中で学校内外の人材や資源を活用し、ニーズに適応させながら、学校の教育目標を達成していく活動を積み重ねている。実態把握、仕組みづくり、運用という流れの中で、人、もの、資金、情報、時間などについて学校が意図的・計画的に関係者とのネットワークを構築し、体力・運動能力の向上に取り組む。

取組成果の評価

Check

- ①本校の体力合計点（T得点）は男女とも、全国や本県の体力合計点を上回っている。
- ②本校の生徒質問紙における保健体育科の授業に係る肯定的な回答の割合は、「目標が示されている」「振り返る活動を行っている」の他、「助け合ったり、役割を果たすような活動を行っている」「話し合う活動を行っている」などで、男女ともに全国や本県の割合を上回る状況が継続している。

今後の課題



毎年40校前後の小学校から入学する本校生徒の運動経験などをきめ細かに分析しながら、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わることができるように、体力・運動能力の向上に係るよりよい取組を展開する必要があります。

体力の向上の取組がもたらす波及効果

学力の向上が見られる。学力推移調査の結果では全体的に上昇傾向にあり、特に2、3年生の上位層が大幅に増加している。また、1年生は「勉強が楽しくやる気に満ちている」が22.5%（全国10.5%）と高めに出ており、今後も継続させることによって現在の2、3年生と同様の伸びが期待される。また、校内外の生活も落ち着いている。

社会の進歩と発展に貢献する次世代のリーダーの育成

【育てたい生徒像】

人や社会に貢献しようとする意欲と能力、真摯に学び続ける姿勢をもつ生徒
 豊かな人間性を有し、他者への思いやりと自己肯定感をもつ生徒
 健全な心身と高い志をもち、進取の気性と不屈の意志で未来を切り拓く生徒



運動や弁当の特集を掲載したPTA会報

「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、社会に適応する能力の育成→学力の向上
 生活の落ち着きなど



近隣学校の栄養教諭の料理教室

一人一人の取組に焦点化

ネットワークの構築

家庭や地域との連携

保健体育科の授業以外の取組

- ①体を動かす「時間」の創出②「空間」の工夫
- ③「仲間」づくり④生徒の自主的な活動⑤目標をもった活動・課題や目標の設定

保健体育科の授業の工夫・改善

「いわての授業づくり三つの視点」を大切に授業の積み重ね

- ①学習の見直し
- ②学習課題を解決するための学習活動
- ③学習の振り返り

豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成
 技能、態度、知識、思考・判断のバランスの取れた指導と評価
 男女共習

授業の目標が示されている振り返る活動を行っている
 助け合う活動を行っている
 話し合う活動を行っている



自主的な活動クラスマッチ



放課後の異年齢集団活動



取組の進捗状況などの共有



体育的な学校行事のイベント化



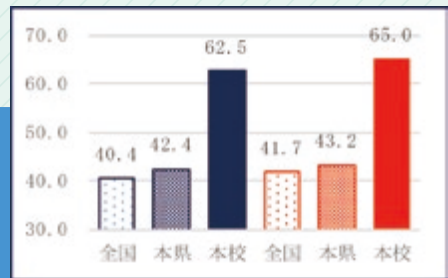
学習の見直し、目標の提示



学習の振り返り



授業の始めに授業の目標が示されている



授業の最後に振り返る活動を行っている

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果や学校評価などの分析・検討